

2020年12月期 中間決算説明資料

クリヤマホールディングス株式会社
(東証二部:3355)

01



目次

1.2020年第2四半期決算概要

2.事業戦略

3.ESGへの取り組み

4.補足資料

1. 2020年第2四半期決算概要



KURIYAMA

連結決算の概要



■ 新型コロナウイルスの影響により若干厳しい状況に

(単位：百万円)

項目	2019年	構成比率 (%)	2020年	構成比率 (%)	前期比 (%)
	上期		上期		
売上高	29,394	100	25,158	100	△ 14.4
営業利益	2,063	7.0	1,409	5.6	△ 31.7
経常利益	2,067	7.0	1,680	6.7	△ 18.7
当期純利益	1,411	4.8	1,178	4.7	△ 16.5

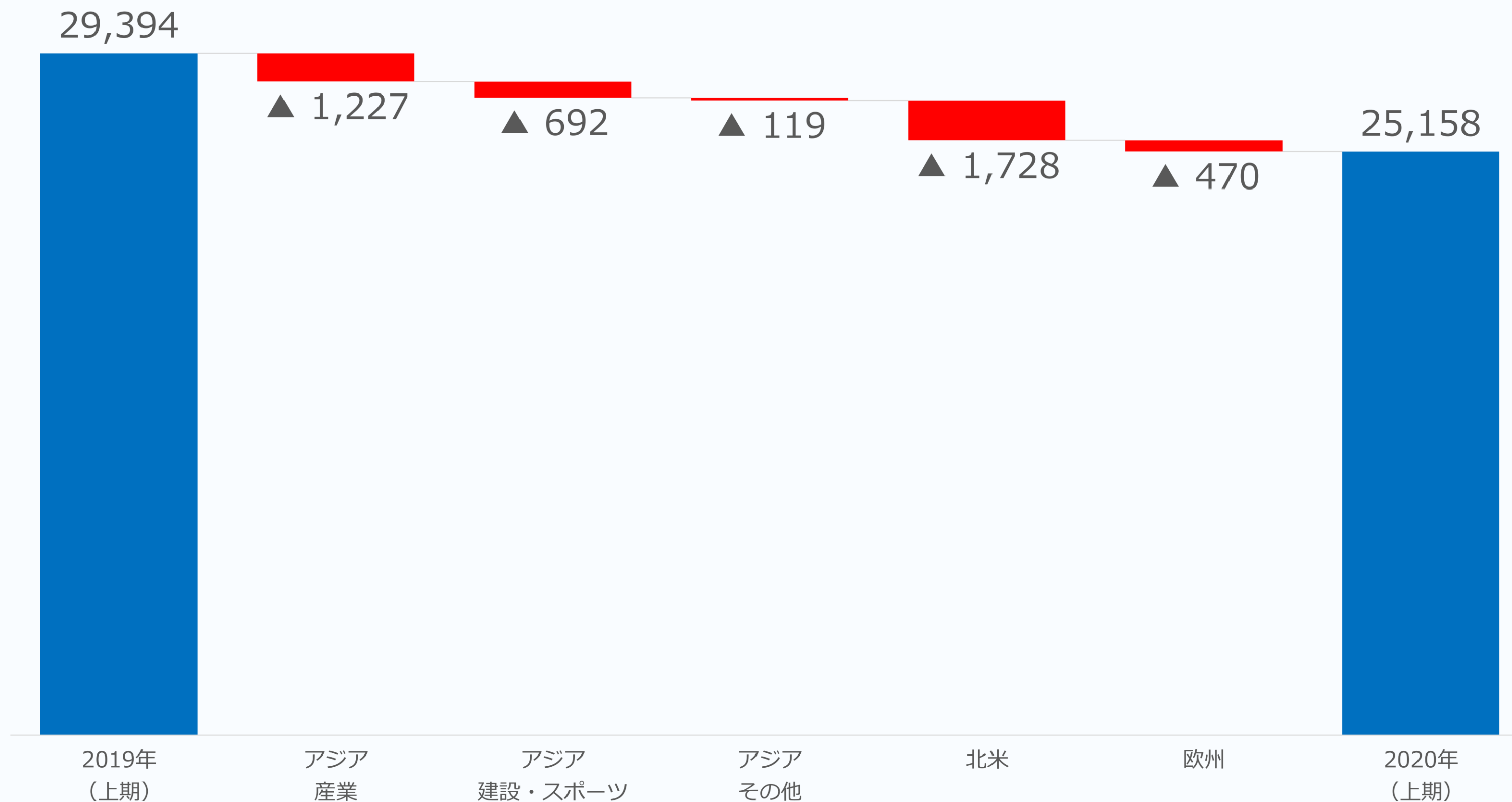
設備投資額	582	1,205	+107.0
減価償却費	680	660	△ 2.9

平均為替 レート	USドル	109.97	108.24
	カナダ ドル	82.65	79.10
	ユーロ	124.07	119.40
	中国元	16.23	15.32

売上高増減要因

■ 前期比14.4%減少

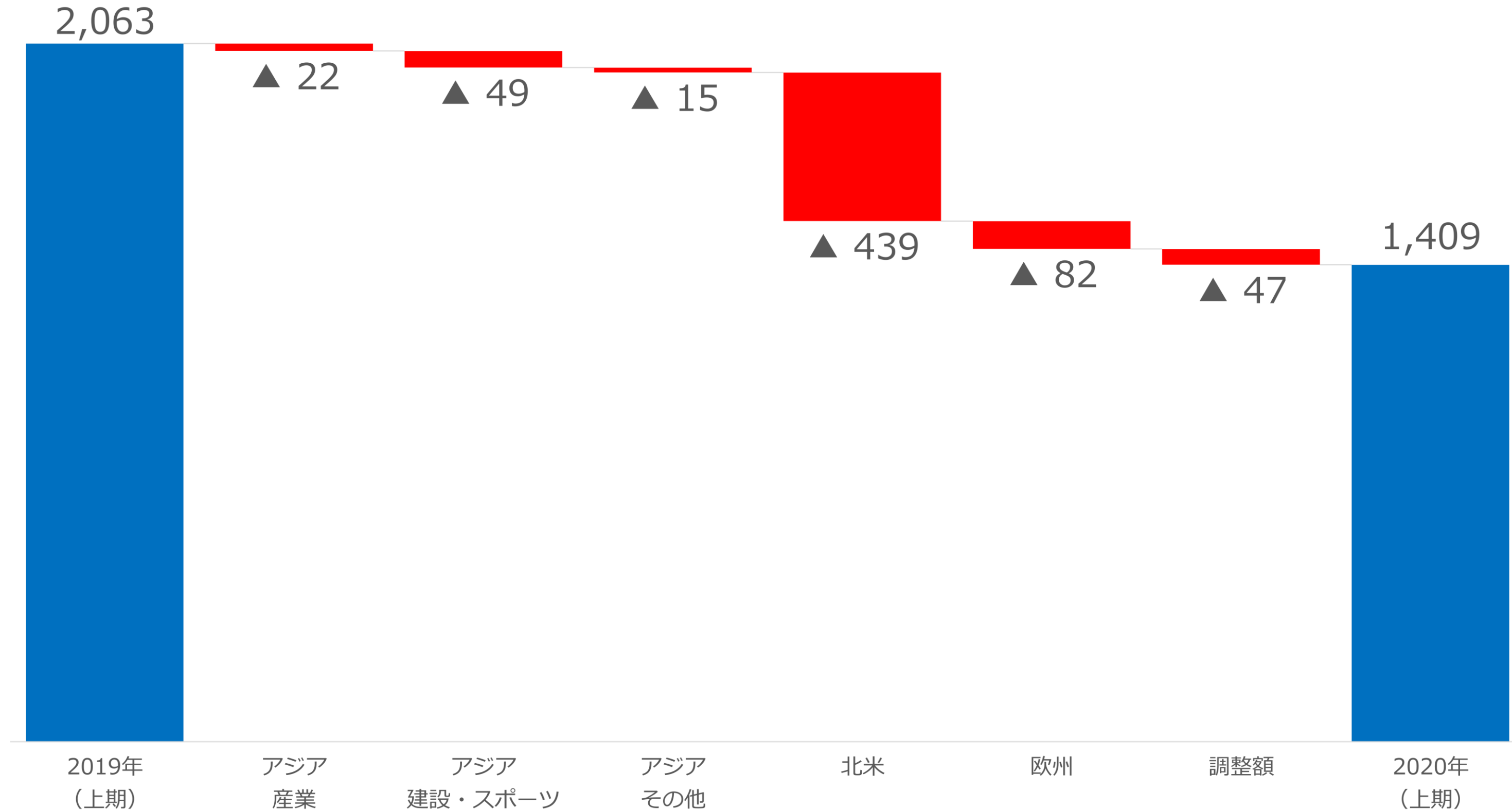
(単位：百万円)



営業利益増減要因

■ 前期比31.7%減少

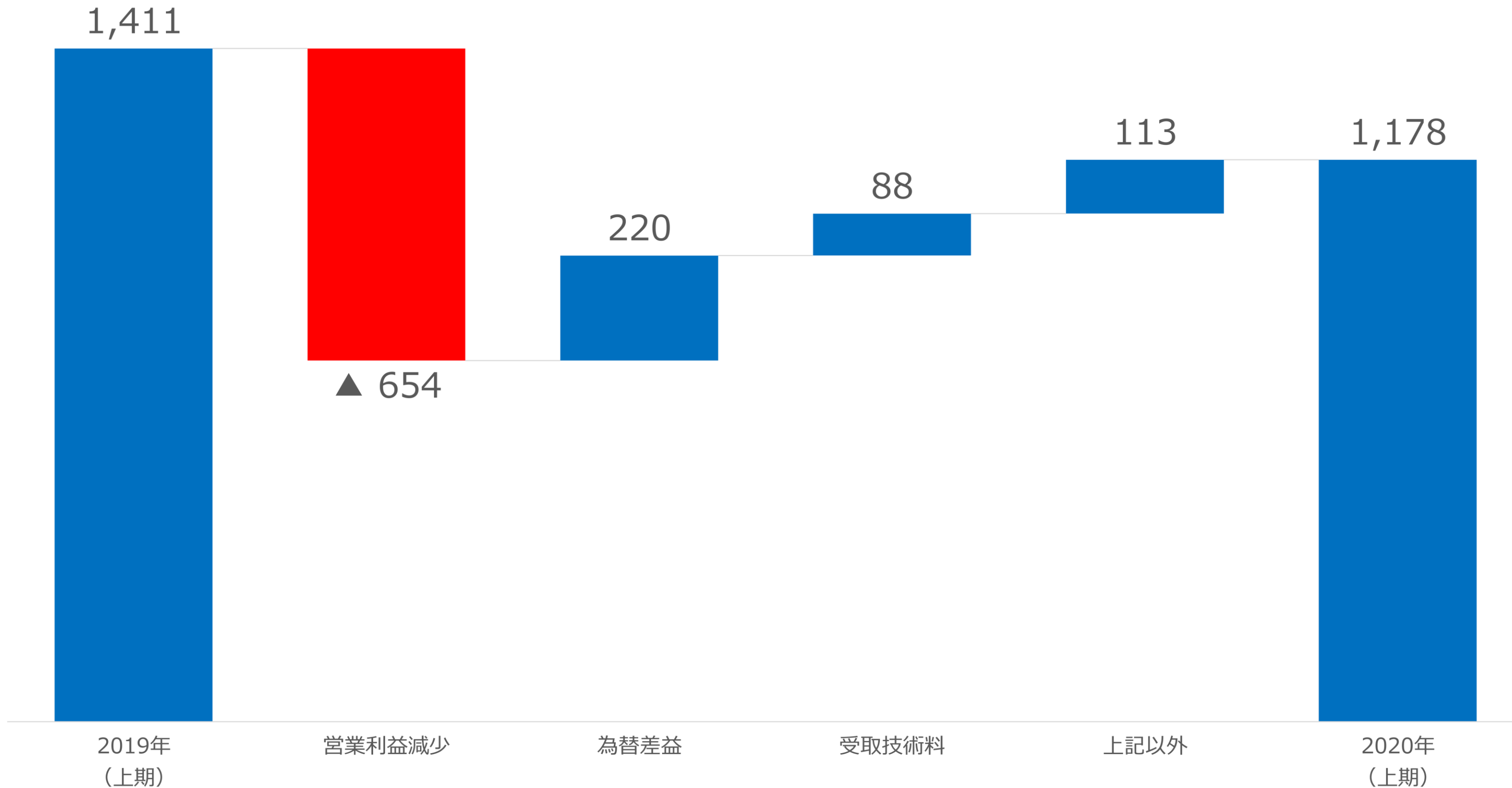
(単位：百万円)



当期利益増減要因

■前期比16.5%減少

(単位：百万円)



セグメント別売上高・営業利益



■ コロナ禍においてアジア事業が収益の落ち込みをカバー

■ 売上高・営業利益

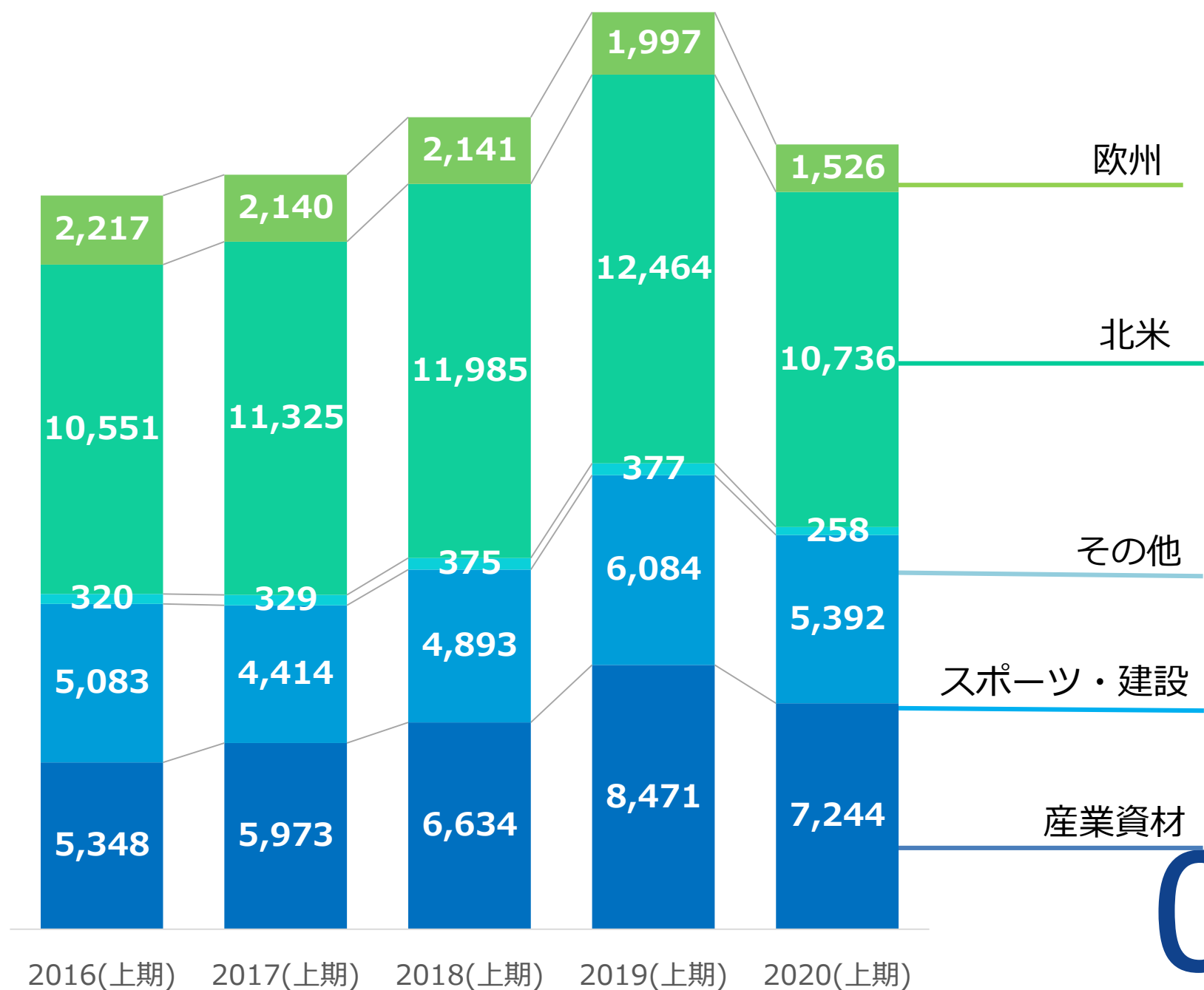
(単位：百万円)

セグメント別			2019年 上期実績	2020年 上期実績	前期比増減	前期比 (%)
	産業資材	売上高	8,471	7,244	△ 1,227	△ 14.5
		営業利益	936	914	△ 22	△ 2.3
	スポーツ・ 建設資材	売上高	6,084	5,392	△ 692	△ 11.4
		営業利益	574	524	△ 50	△ 8.6
	その他	売上高	377	258	△ 119	△ 31.5
		営業利益	△ 58	△ 73	△ 15	—
	アジア事業	売上高	14,932	12,895	△ 2,037	△ 13.6
		営業利益	1,451	1,365	△ 86	△ 5.9
	北米事業	売上高	12,464	10,736	△ 1,728	△ 13.9
		営業利益	950	511	△ 439	△ 46.2
欧州事業	売上高	1,997	1,526	△ 471	△ 23.6	
	営業利益	△ 15	△ 97	△ 82	—	
連結	売上高	29,394	25,158	△ 4,236	△ 14.4	
	営業利益	2,063	1,409	△ 654	△ 31.7	

※全社費用は上記に表示しておりません

■ 年度別売上高の推移(上期)

(単位：百万円)

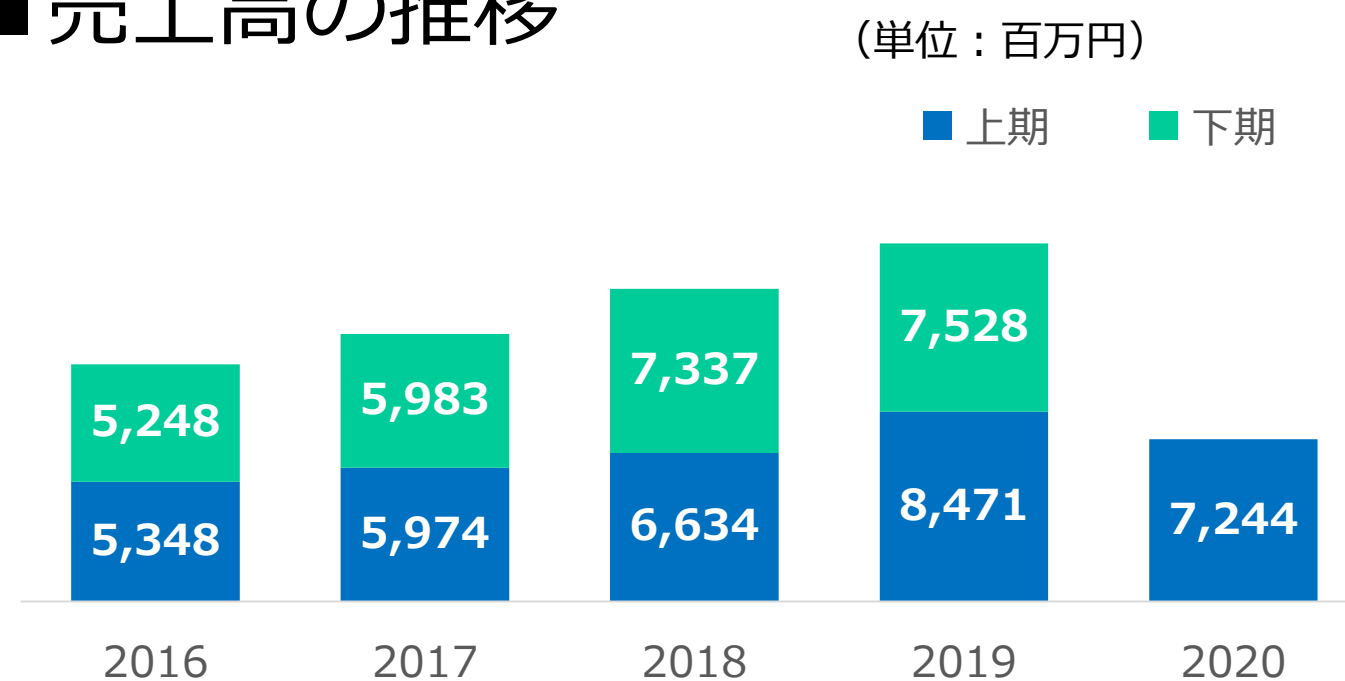


アジア/産業資材の概況

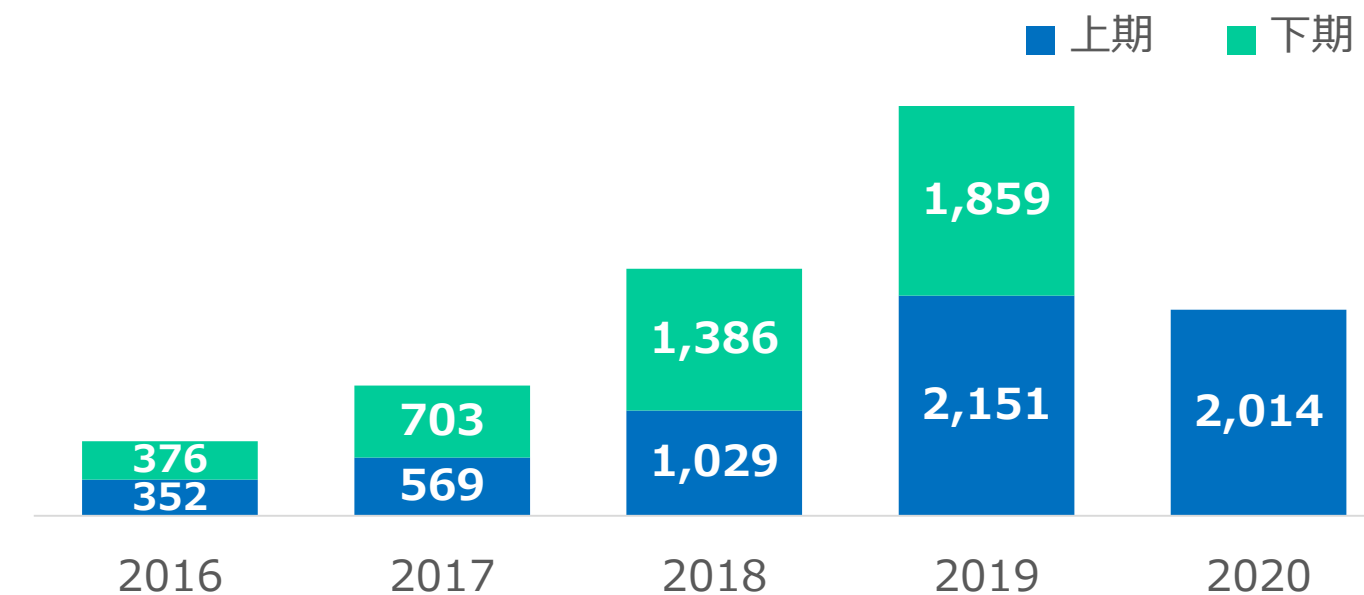


- 建設機械、自動車向けが減産も電力施設が落ち込みをカバー
- (株)サンエーは自動車の減産による影響を受けるも、農業機械をはじめとした自動車以外の供給を継続し、減少を最小限に抑制

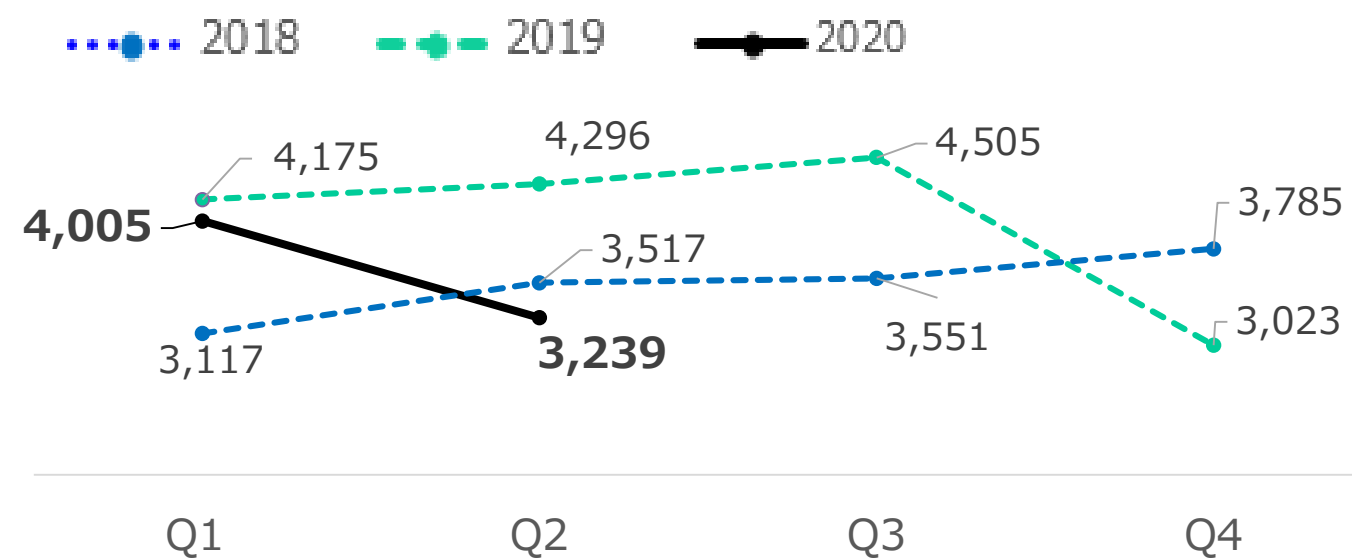
■ 売上高の推移



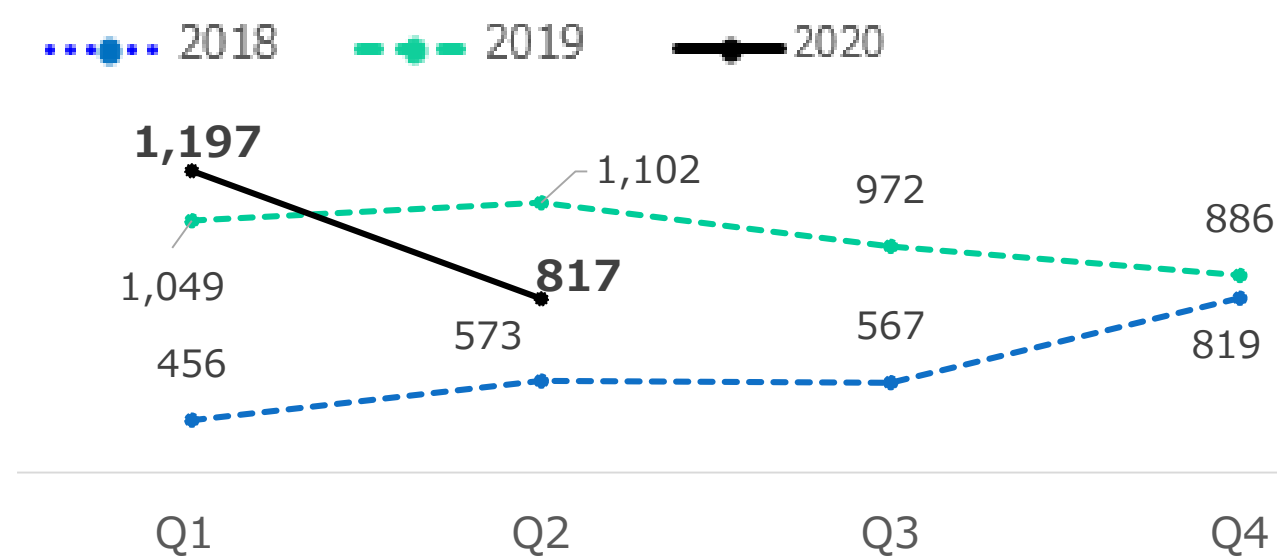
■ (株)サンエー単体売上高の推移 (単位：百万円)



■ 四半期ベースの推移



■ (株)サンエー単体四半期ベースの推移

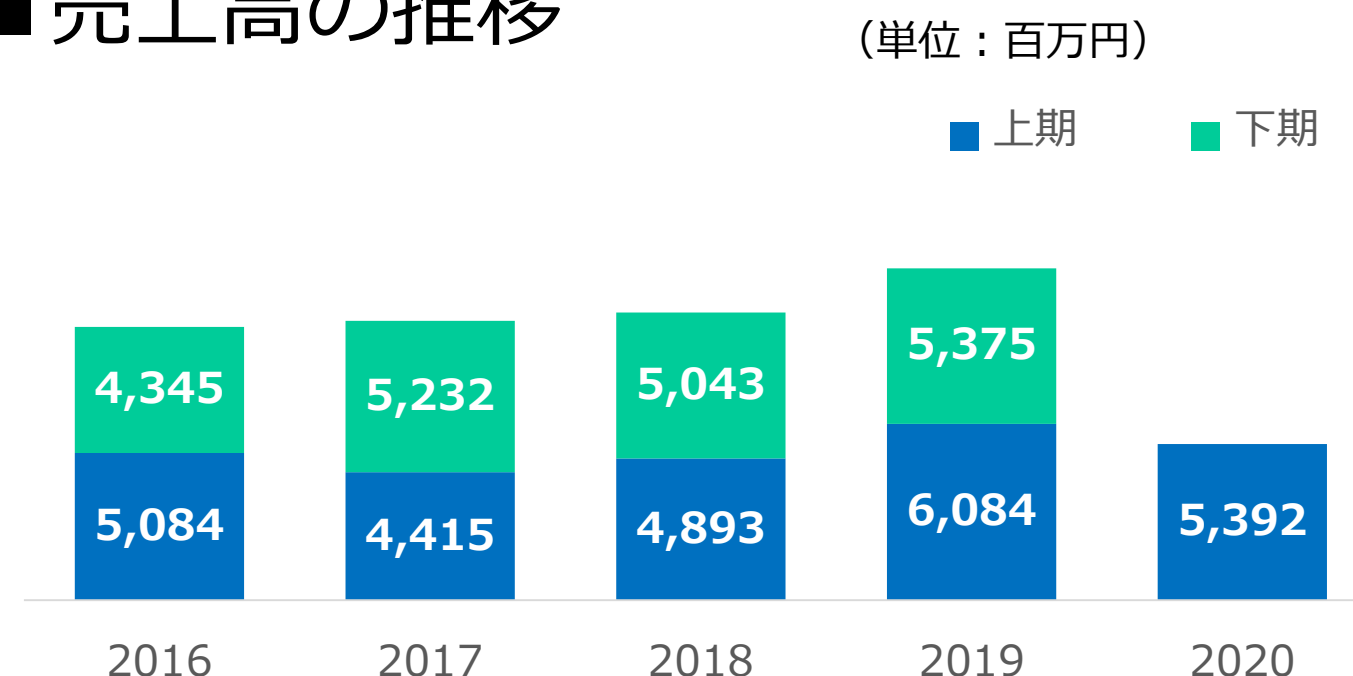


アジア/スポーツ・建設の概況

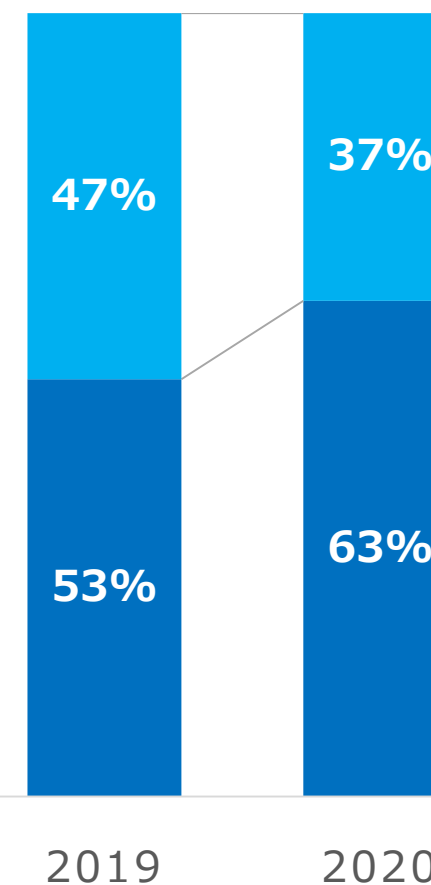
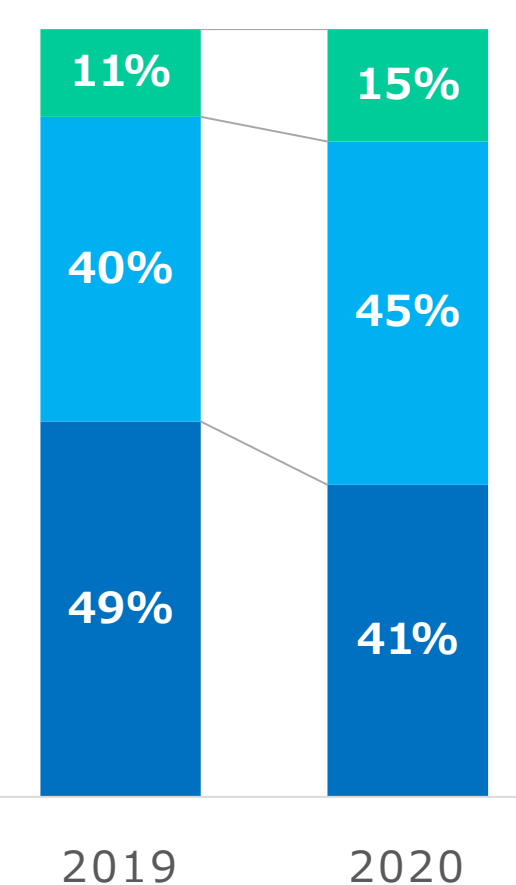
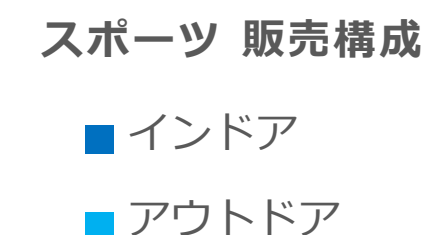
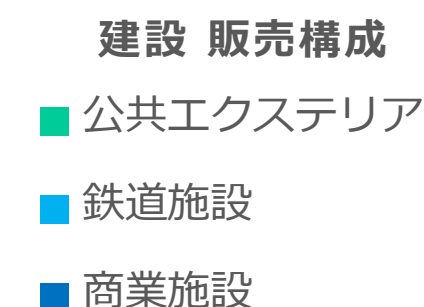


- 鉄道施設向けは堅調、大型商業施設、屋外スポーツ施設の落ち込みをカバー
- 競技時の安全性やメンテナンス、また防災拠点として教育施設をはじめとした体育館(インドア)の案件が堅調に推移

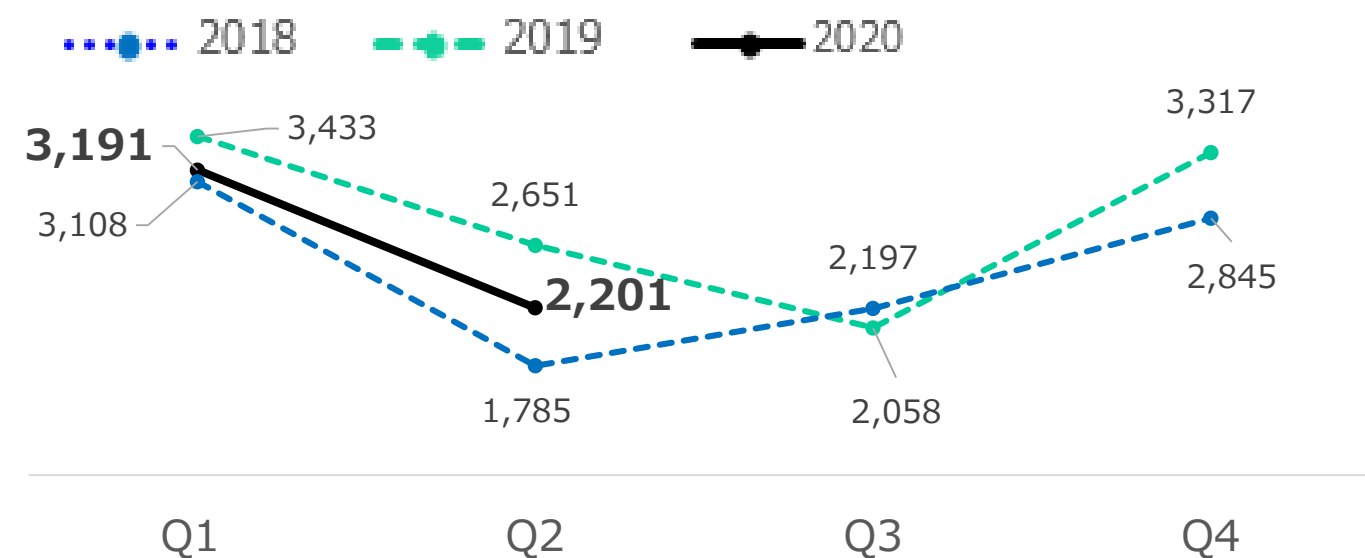
■ 売上高の推移



■ オリジナル製品販売構成



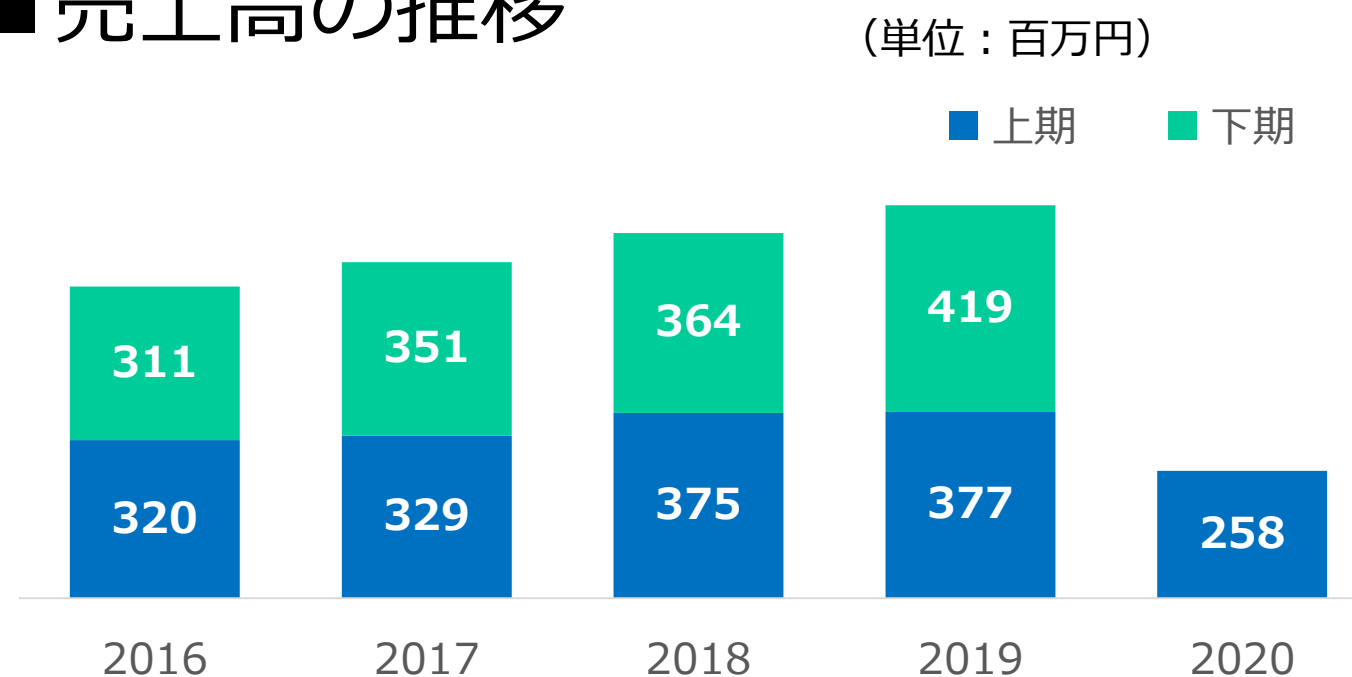
■ 四半期ベースの推移



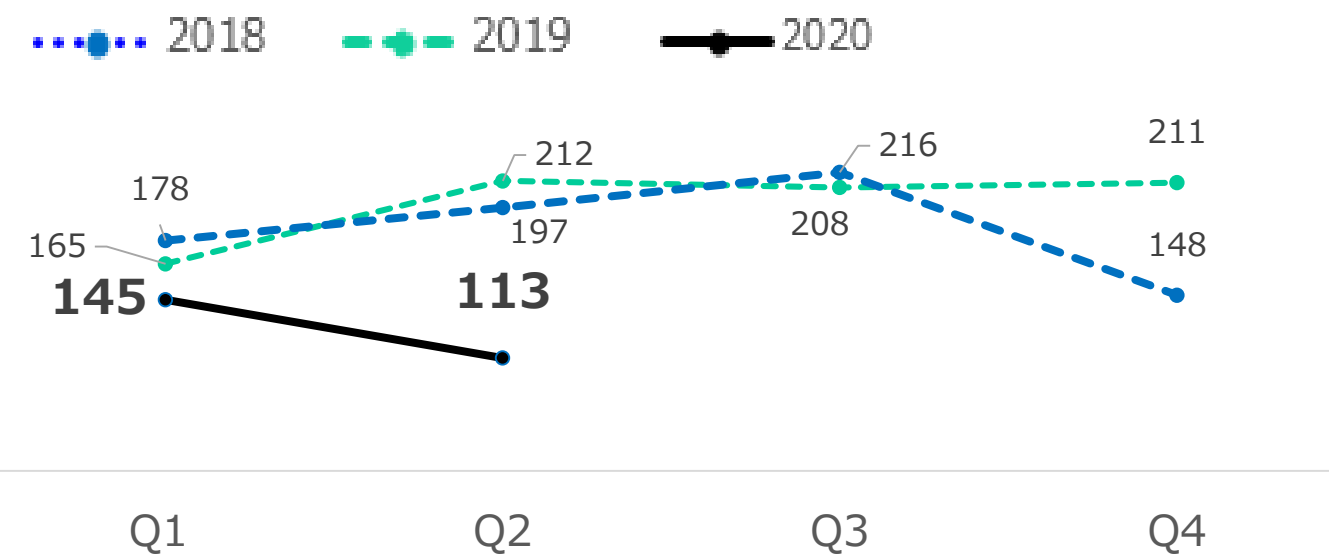
アジア/その他の概況

- 消費者マインド悪化、緊急事態宣言による臨時休業が影響
- WEB販売により重点を置いた広告戦略及び営業展開強化によりオンラインでの販売数が増加傾向

■ 売上高の推移



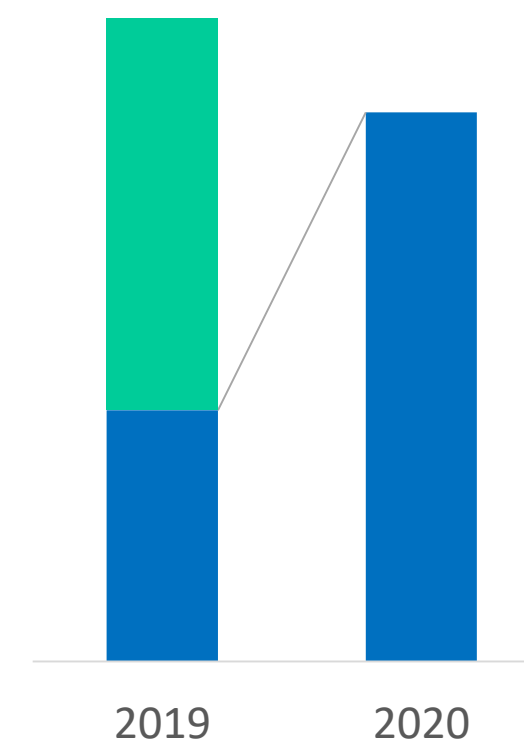
■ 四半期ベースの推移



■ Eコマースの販売推移

MONTURA公式
オンラインショップ
(<https://onlineshop.montura.jp/>)
の上期売上は、
昨年の約2倍に増加

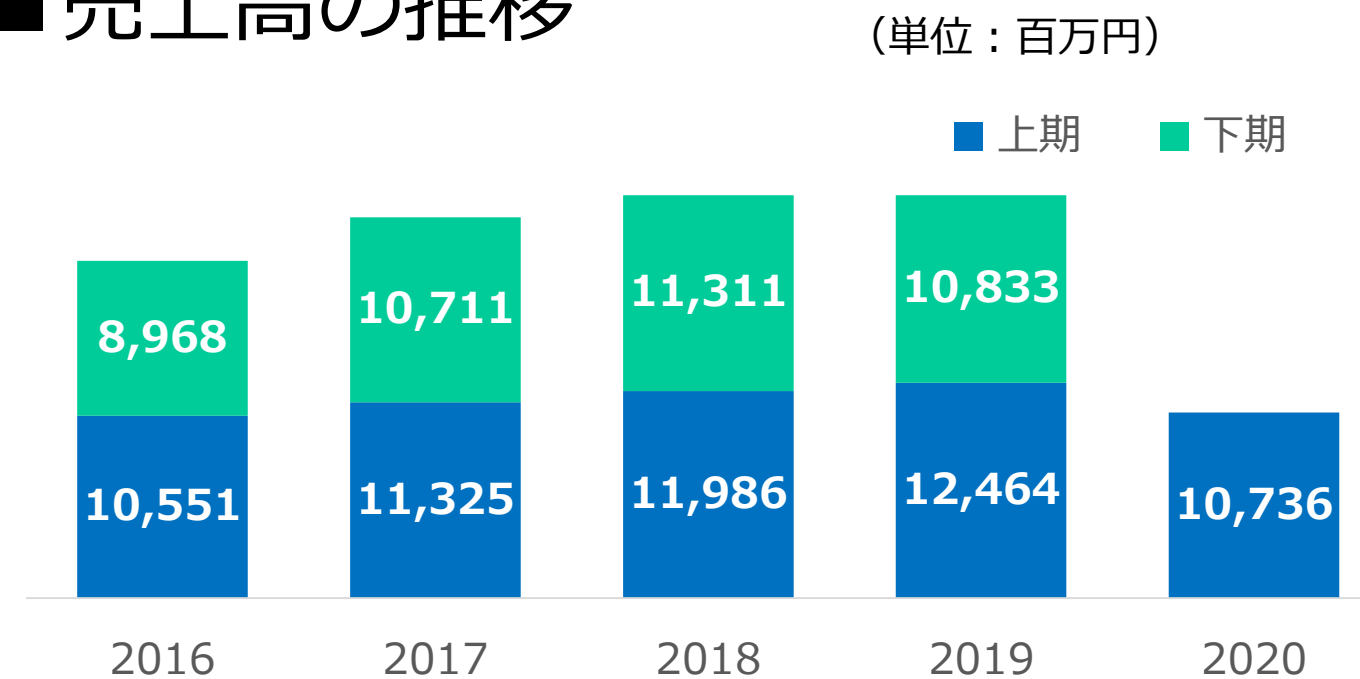
■ 上期 ■ 下期



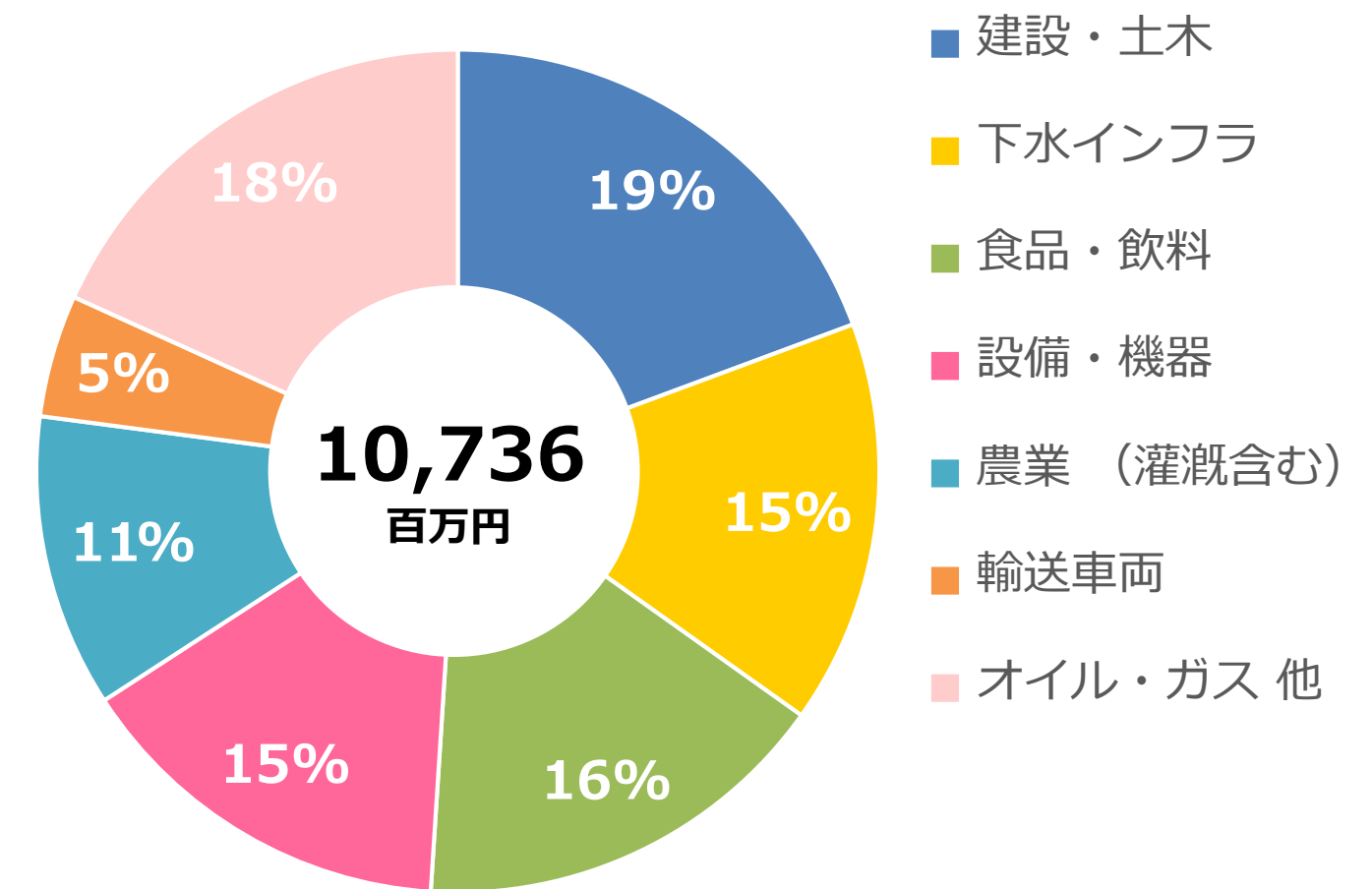
北米事業の概況

- 必要不可欠な事業(Essential Business)として事業活動を継続
- 医療用チューブの増産等に対応するも、幅広い業界の需要停滞により販売減少
- 外出制限により家庭向け用途のペイントホース等は需要増加

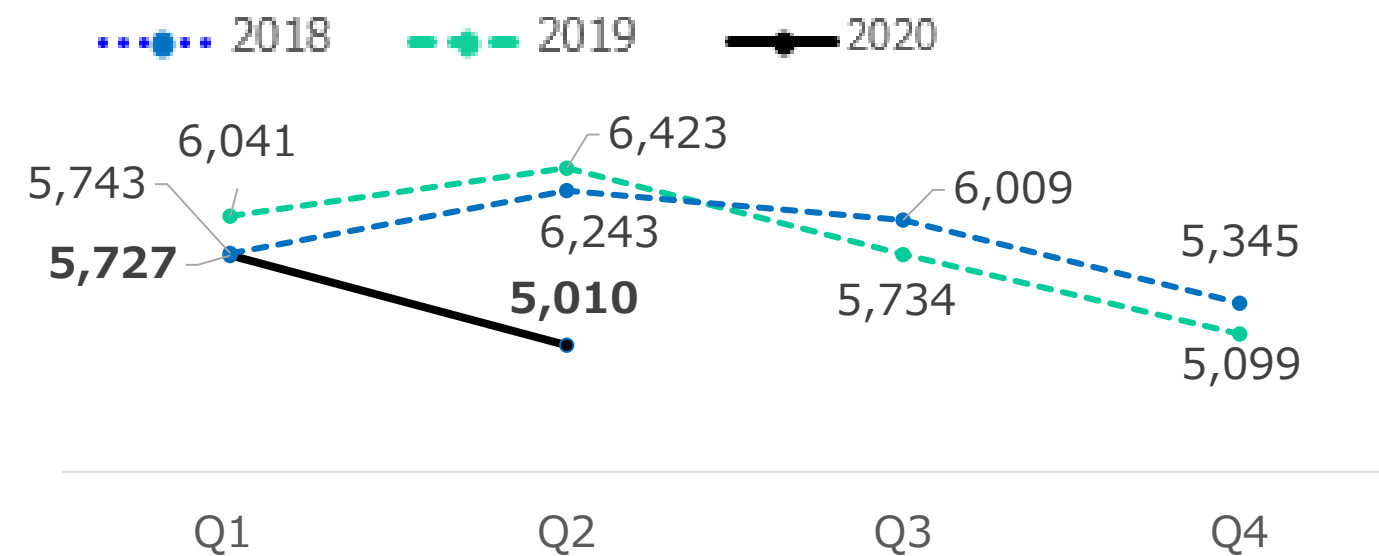
■ 売上高の推移



■ 北米事業 販売構成



■ 四半期ベースの推移

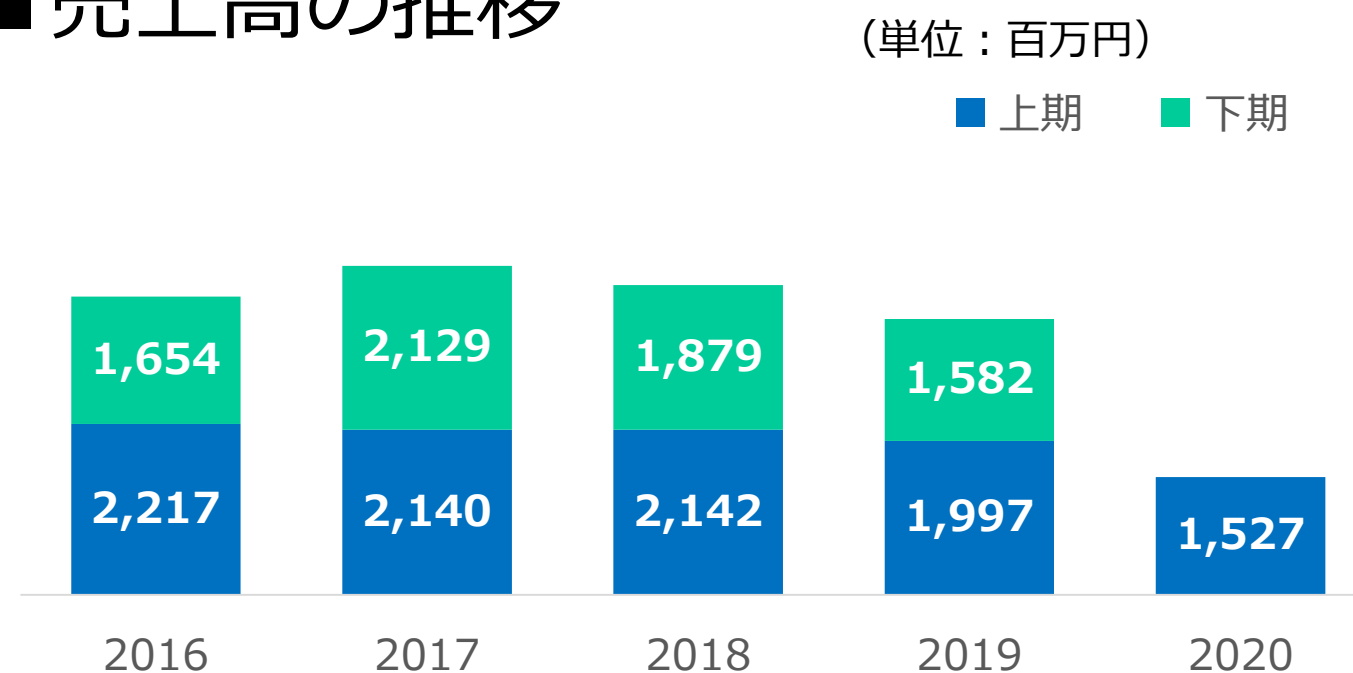


欧州事業の概況

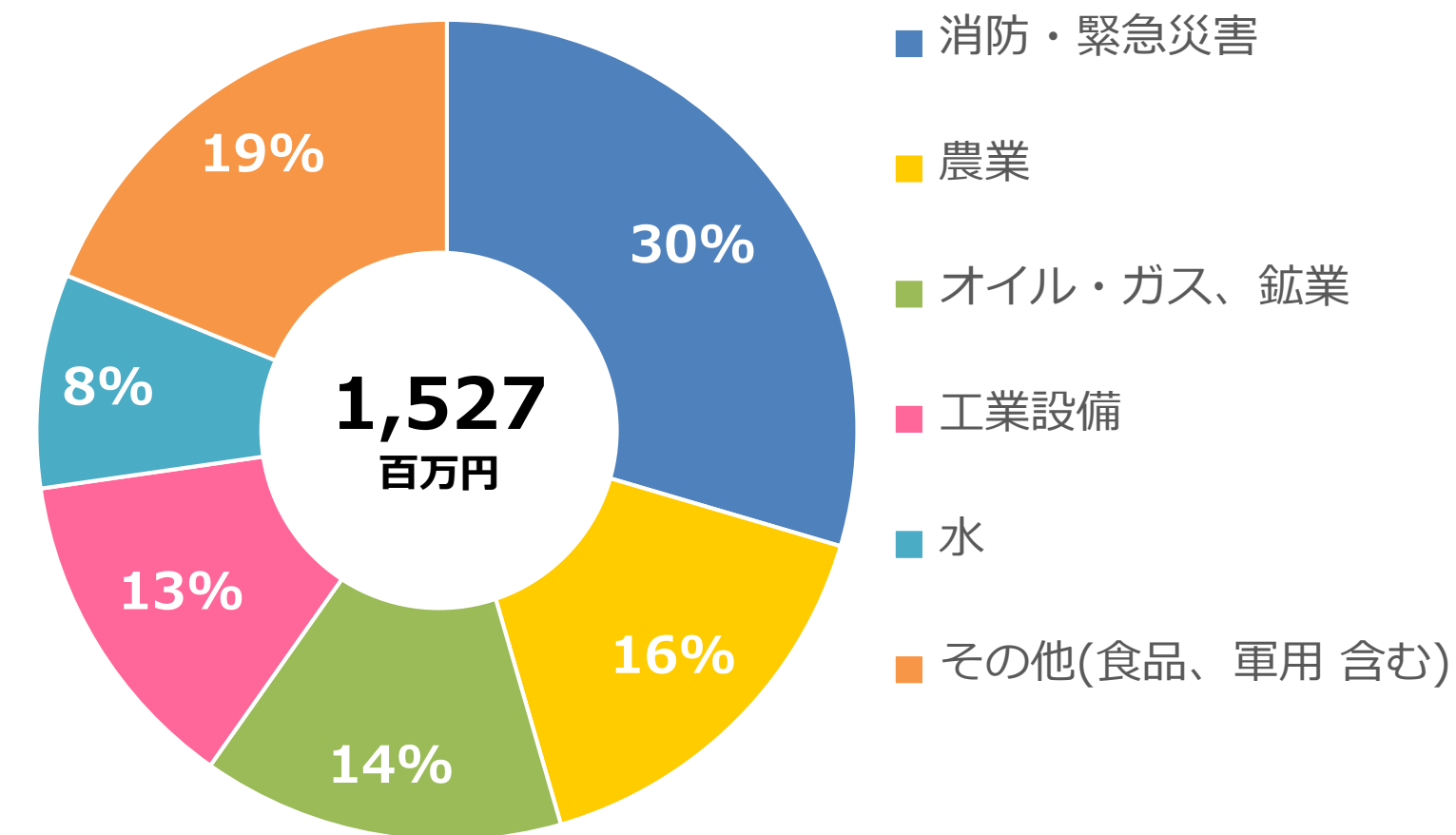


- 各国行政から必要な事業としての認可を取得し、可能な限り操業を継続
- 建設業界や消防機関での設備投資抑制の影響を受け販売が減少
- 日本市場へ消防関連製品の供給を開始

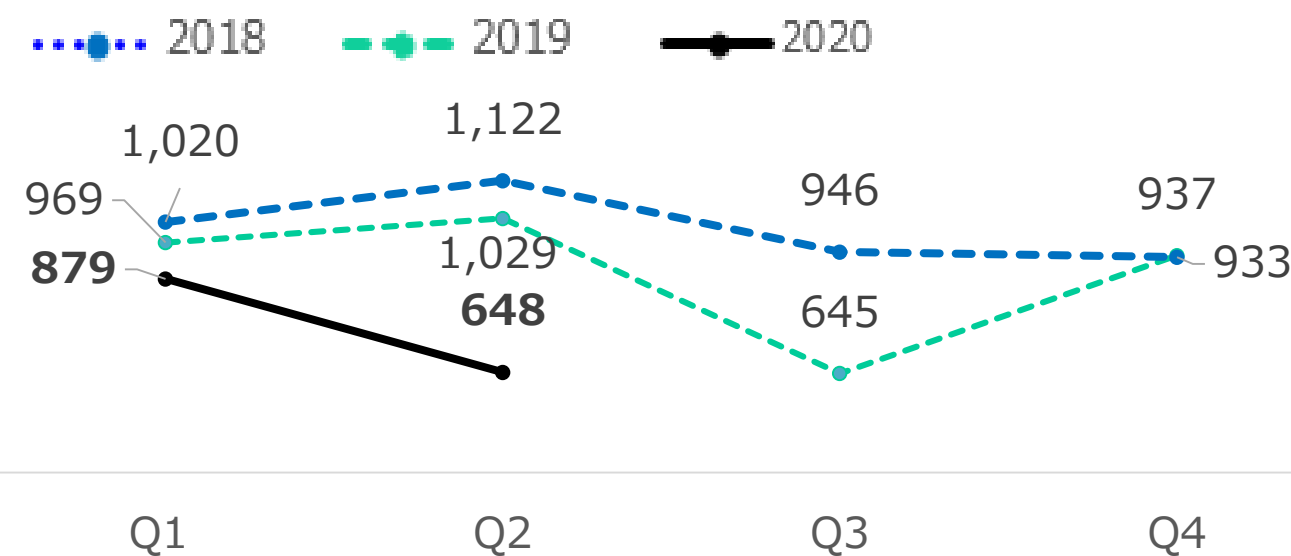
■ 売上高の推移



■ 欧州事業 販売構成



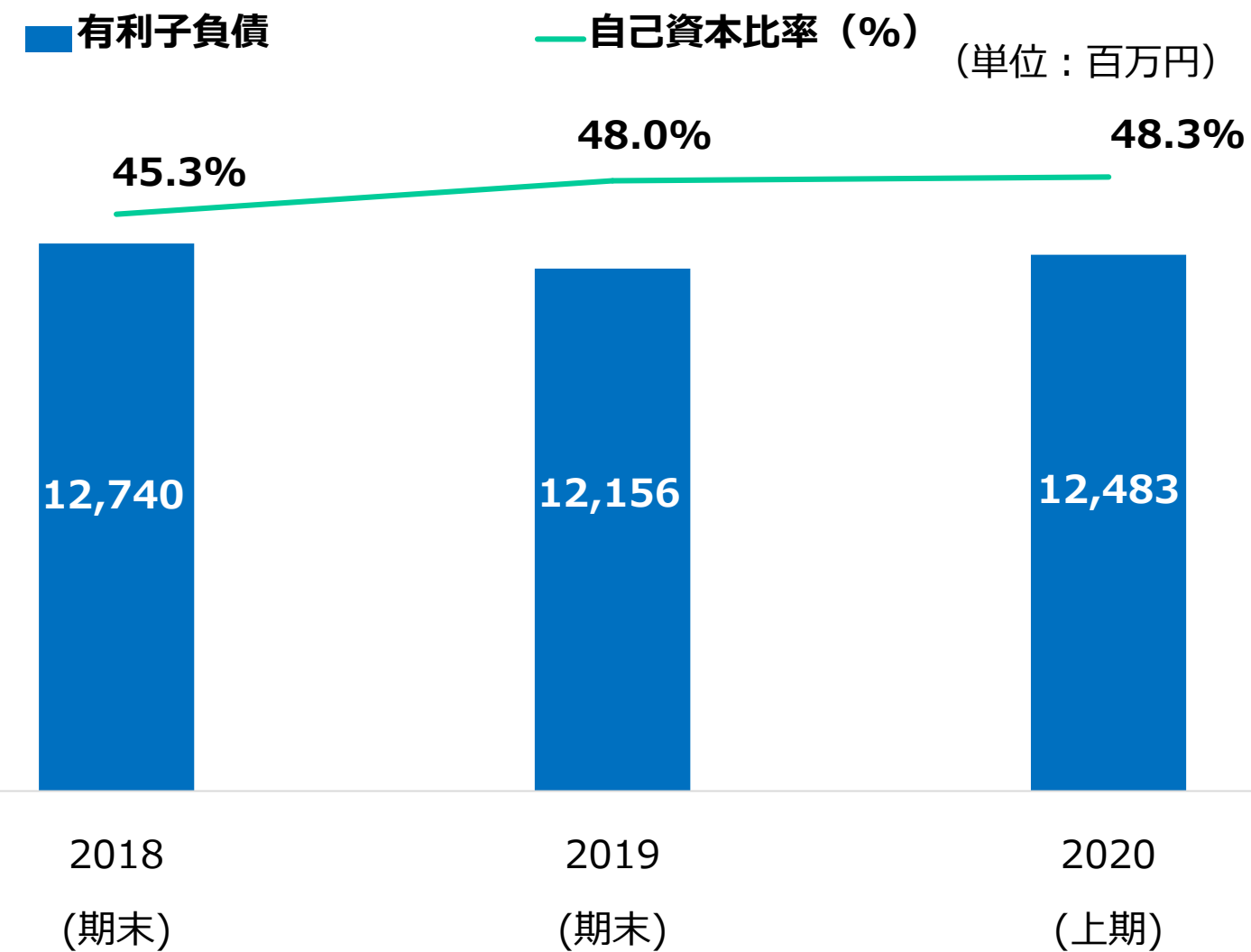
■ 四半期ベースの推移



負債及び投資

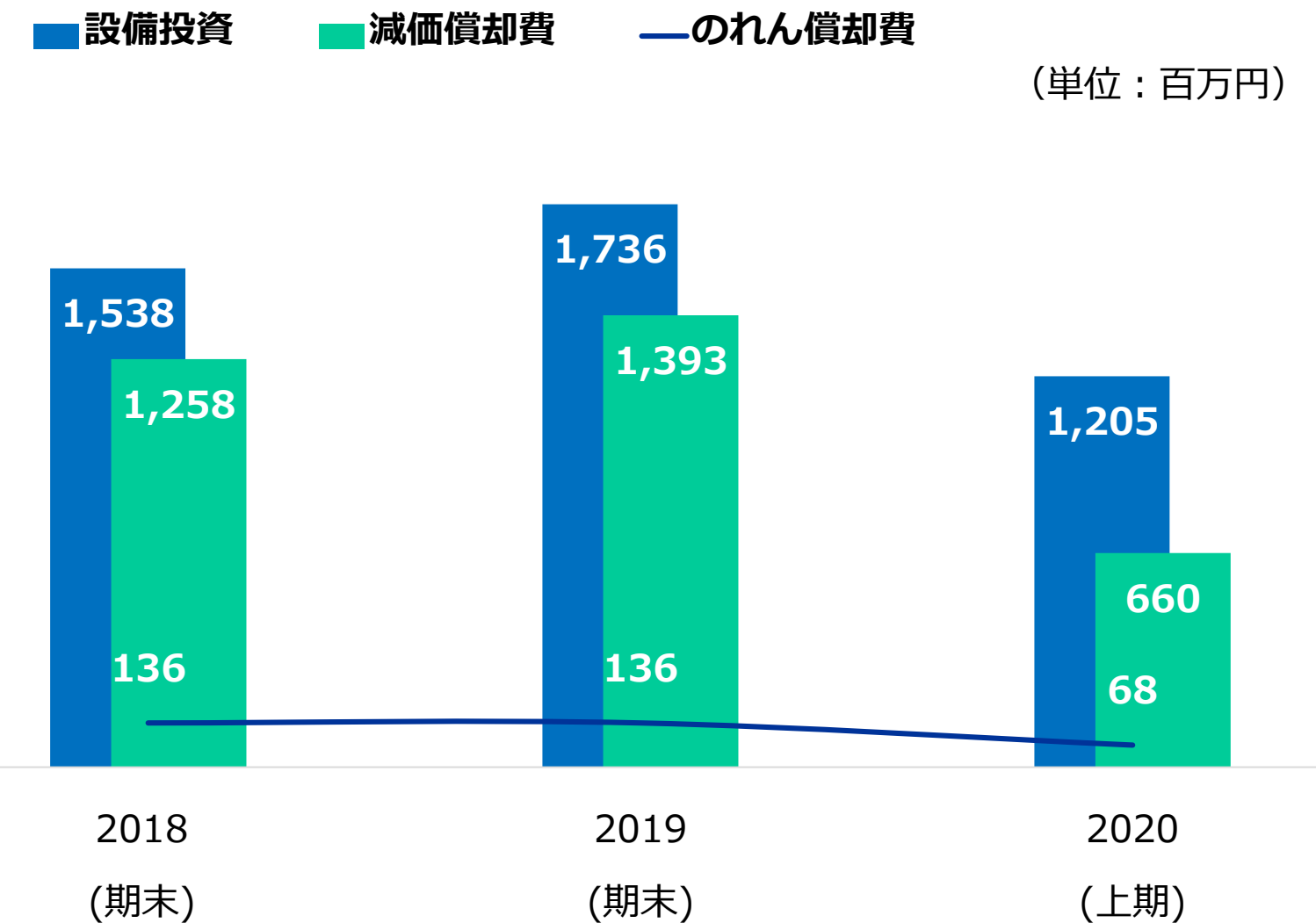


■ 有利子負債及び自己資本比率の推移



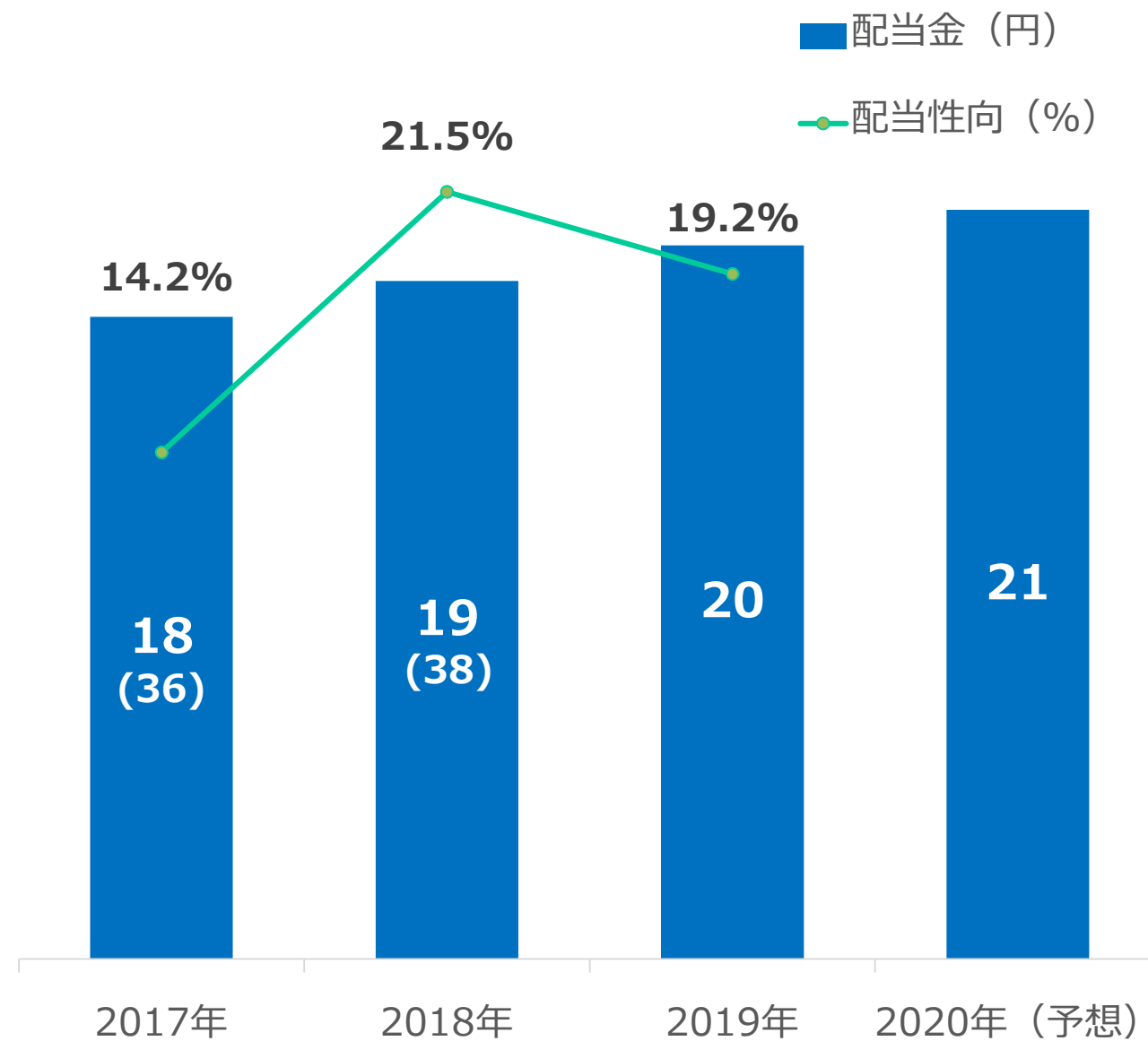
2020(上期) 借入金		金額(百万円)
上期借入金合計額		2,948
上期借入金返済額		△2,621
増減額		+327

■ 設備投資及び減価償却費等の推移



2020(上期)主な設備投資		金額(百万円)
クリヤマHD	新建屋建築	749
北米グループ	機械装置増設	205
(株)サンエー	機械装置増設	76

■ 配当金と配当性向の推移



※19年に株式分割を実施
()内数値は分割前の配当金額

■ 配当金について

- 継続的・安定的配当を基本方針とし
20年期末配当予想も変更しない予定
- 期末配当予想(1株当たり)： 21円
- 上場来(2004～2019) 減配なし

■ その他

- 株主優待制度 (当社オリジナルQuoカード)
 - ✓ 200株以上 : 1,000円分
 - ✓ 2,000株以上 : 3,000円分

■ 業績予想について

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、世界の経済活動が大きく制限されており、その回復の時期が不透明な状況
- 今後の需要を見通すことが困難なため、通期業績予想は未定とする
- 算定が可能となった時点で速やかに開示する
- 中長期的な経営方針・戦略に変更はなく、投資の実行可否は事業状況を適宜見極め、判断する

■ 当社の取り組み

- 従業員の健康と安全を確保し、テレワーク、移動の自粛等の感染防止措置を積極的に推進
- 海外拠点においては、現地行政の指示に従い、適切な感染予防措置を行いつつ、必要不可欠な事業として操業を継続
- 設備投資計画の見直し、および適正在庫の確保に努め、顧客への製品・サービスの提供を滞りなく継続できる環境を整備

2.事業戦略



KURIYAMA

クリヤマグループ戦略

グローバル戦略

- 日本の建機・農機のグローバルTier1サプライヤーを目指す
- 産業用ホースメーカーとして世界No.1ブランドを目指す
- 現地生産・現地販売を推進する

■日本の建機・農機のグローバルTier1 サプライヤーを目指す

■上期における進捗

- 建機・農機各社の新機種向けSCRモジュールタンクの量産体制を構築
- 欧州市場における量産部品の供給体制を構築
- BCPによるリスク管理を体系化、不測の事態における事業継続性を強化

■産業用ホースメーカーとして世界No.1ブランドを目指す

■上期における進捗

- 北米ロジスティクスの最適化による顧客サービス向上とコスト戦略に注力
- 酒類製造用、高性能農薬搬送など、特長のある商品の開発、販売活動を推進
- 欧州子会社のATI社を北米事業へ再編し、米国市場における消防機関への販売活動を強化



■現地生産・現地販売を推進する。

■上期における進捗

- アメリカ/インディアナ工場にてメタルホースの製造設備を増設
- スペイン工場にて大口径レイフラットホースを開発、専用ラインを増設
- アルゼンチン工場／倉庫拡張に伴う長尺ホース製造及び、在庫販売品目の拡充

クリヤマグループ戦略

国内営業戦略

- MONTURAの販売拡大
- スポーツ・オリジナル建材の再構築



■ MONTURAの販売拡大

■ 上期における進捗

- MONTURAが強みとするアスリート、アルパインを主としたブランド認知を推進
- Eコマースと直営店などの販売店舗との連携強化
- アウトドア向け広告戦略を展開し、オンライン会員向け割引、試着キャンペーン等のサービス拡充

■ スポーツ・オリジナル建材の再構築

■ 上期における進捗

- 体育館床面の老朽化が原因のささくれ問題解消のため、弾性スポーツシート“タラフレックス”による改修を推進
- 安全対策として鉄道施設のホームと列車乗降口の隙間を埋める“一体型スキマモール”を開発、山手線に採用
- 当社オリジナル製品の施工を担う関連会社オーパーツ(株)との協業体制による施工品質の向上を推進

3. ESGへの取り組み



KURIYAMA

ESGへの取り組み

持続可能な社会の実現に向けて

クリヤマは商品や事業活動を通じて、環境保全や社会に貢献しております。

また働き方改革やガバナンスの強化に積極的に取り込むことで会社の長期的な成長基盤を構築し、持続可能な社会の実現を目指しております。今後は、ESGへの取り組みとともに、SDGsを経営戦略に織り込んだ企業経営を推進して参ります。

**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**



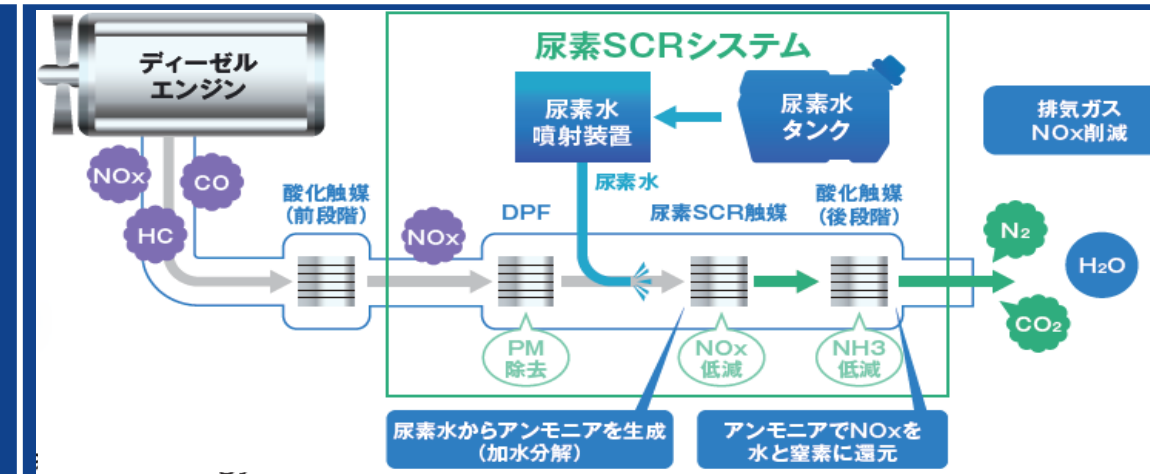
ESGへの取り組み

ESG課題

当社の取り組み

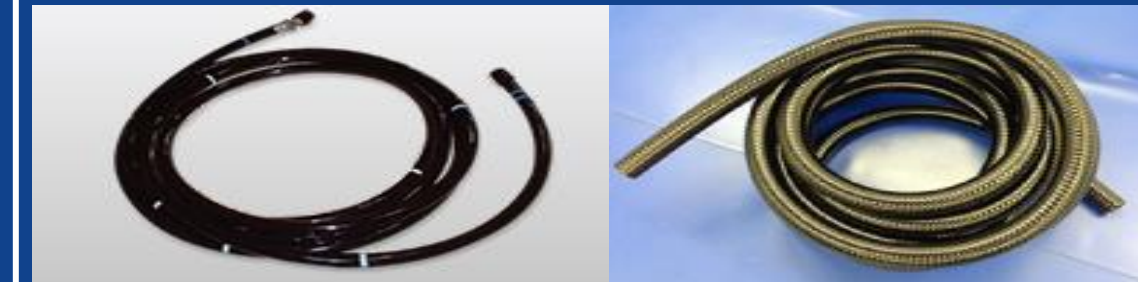
地球温暖化

排ガス中の窒素酸化物（NOx）を除去する「尿素SCRシステム」による大気汚染対策



水資源

環境対応エンジン向けのホース開発による環境負荷低減



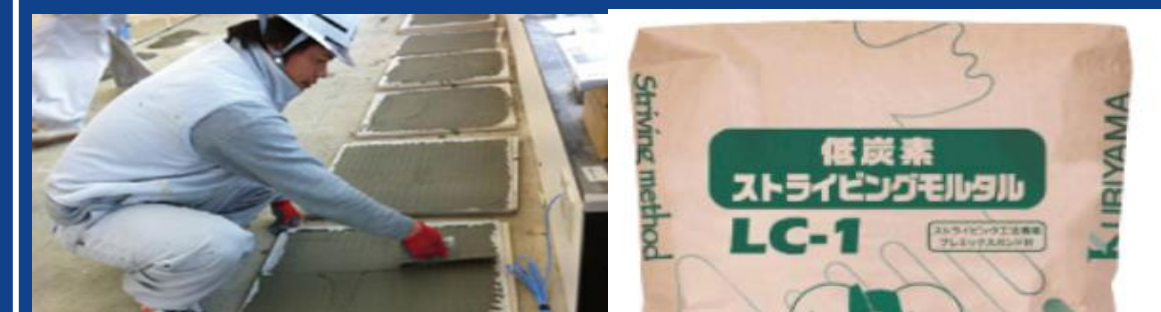
生物多様性の保護

都市型洪水やヒートアイランド現象を抑制するリサイクルタイルの開発。天然素材の充填剤を使用し、温度抑制効果の高い人工芝の展開



廃棄物の管理

CO2排出量低減に配慮したセメントの使用



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任 つかう責任



13 気候変動に具体的な対策を



ESGへの取り組み

ESG課題

当社の取り組み

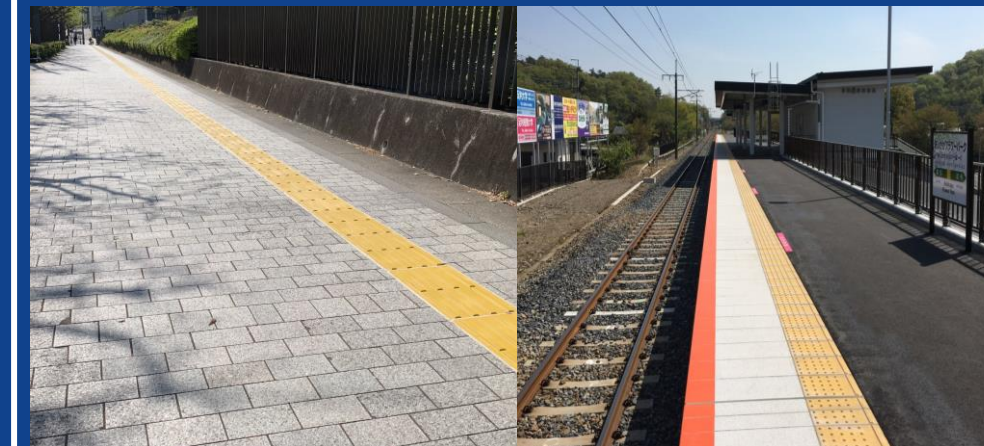
人権問題 への対応

職場環境や就業規則の見直しによる働き方改革や女性活躍支援等の積極推進。多様な人材採用によるダイバーシティの推進



労働者の権利への配慮

視覚障がい者を守る点字タイル、ホームの安全を守るノンスリップタイルや「スキマモール」等、全ての人が安全安心に過ごせる環境の創造



地域社会との連携と貢献

競技施設から防災拠点まで多目的機能を有する床材「タラフレックス」



日本トップリーグ連携機構のオフィシャルパートナーとして次世代の子どもたちのスポーツライフを支援



4. 補足資料

補足資料1 要約貸借対照表



(単位：百万円)

資産の部		2019年 12月	2020年 6月	増減額
	現金及び預金	5,947	7,786	+1,839
	受取手形・売掛金 (電子記録債権含む)	9,489	8,032	△ 1,457
	たな卸資産	12,529	12,195	△ 334
	その他	619	545	△ 74
流動資産合計		28,585	28,560	△ 25
	有形固定資産	10,171	10,547	+376
	無形固定資産	1,450	1,255	△ 195
	投資その他の資産	6,300	6,226	△ 74
固定資産合計		17,921	18,029	+108
資産合計		46,507	46,589	+82

補足資料2 要約貸借対照表



(単位：百万円)

負債・純資産の部		2019年12月	2020年6月	増減額
	支払手形・買掛金(電子記録債務含む)	7,224	6,883	△ 341
	短期借入金(1年内長借含む)	7,119	5,962	△ 1,157
	その他	2,541	2,551	+10
流動負債合計		16,885	15,397	△ 1,488
	長期借入金	5,036	6,521	+1,485
	その他	2,230	2,115	△ 115
固定負債合計		7,266	8,636	+1,370
負債合計		24,152	24,033	△ 119
株主資本合計		21,821	22,792	+971
その他包括利益合計		502	△ 268	△ 770
非支配株主持分		31	31	0
純資産合計		22,355	22,555	+200
負債・純資産合計		46,507	46,589	+82

補足資料3 要約損益計算書



(単位：百万円)

項目	2019年		2020年		
	上期	売上高比率 (%)	上期	売上高比率 (%)	増減額
売上高	29,394	100	25,158	100	△ 4,236
営業利益	2,063	7.0	1,409	5.6	△ 654
経常利益	2,067	7.0	1,680	6.7	△ 387
当期純利益	1,411	4.8	1,178	4.7	△ 233

平均為替 レート	USドル	109.97	108.24
	カナダドル	82.65	79.10
	ユーロ	124.07	119.40
	中国元	16.23	15.32

補足資料4 キャッシュフロー等 KURIYAMA

(単位：百万円)

	2019年6月	2020年6月	増減額
営業CF	1,398	3,367	+1,969
投資CF	△ 263	△ 1,210	△ 947
FCF	1,134	2,157	+1,023
財務CF	△ 1,064	△ 50	+1,014
現金及び 現金同等物	5,442	7,785	+2,343
設備投資額	582	1,205	+623
減価償却費	680	660	△ 20
のれん償却	68	68	+0
研究開発費	158	147	△ 11

お問い合わせ先



〒540-6325

大阪府中央区城見1丁目3番7号

松下IMPビル25階

E-Mail : IR@kuriyama.co.jp

TEL : 06-6910-7023

FAX : 06-6910-7035

<https://www.kuriyama-holdings.com>



クリヤマホールディングス株式会社
KURIYAMA HOLDINGS CORPORATION

本資料にかかる注意事項

この資料は投資家の参考に資するため、クリヤマホールディングス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

今後新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる情報の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。